

岡崎嘉平太記念館



だより

Vol. 10



周総理と歓談 北京・人民大会堂(1971)
岡崎氏の後ろが王效賢氏

王^{おう} 效賢^{こうけん}氏
▼一九三〇年生まれ 中国河北省出身。現職・中国日本友好協会副会長。新中国建国後、第一回の訪日代表団である中国赤十字代表団をはじめとして度々訪日し、常に中国と日本の友好を進めるため条約の締結や交渉等に参画し、主要な通訳の仕事にあたる。



王 效賢氏
2008年9月6日

嘉平太氏が出会った人々

主人のお陰で私にも国境を越えた友人が沢山出来ました。中でも中日友好協会副会長の 王 效賢女史 は訪日された際に、忙しい中を宇都宮まで会いに来てくださいますほど親しくさせていたたいです。
女史は長年にわたる周総理の秘書として、中国の難しい時代に総理とともにご苦労された才媛ですのに、本当に気さくに付き合ってくださいます。女史とのお交わりは、亡き主人の百回に及ぶ訪中の初めころの通訳としてお世話いただいたことに始まります。初めてお目にかかった時はその流暢な日本語に驚き、更に頂いたお便りの文字や文章の見事に感服しました。

女史は北京空港の中をフリーパスでお入りになれるので、飛行機のタラップの下まで出迎えて下さり、私は、中国の地を踏む前に、温かみあふれるお人柄そのままの、飛びつきたくなるような笑顔に接する幸せに恵まれています。平成四年の五月、息子と二人訪中しました帰途も空港までお見送り下さいました。出発の時間も近づいた頃、私はトイレに行っておこうと思いましたが、息子は用があるらしく、ちょっと姿が見えません。私は女史にお断りしてトイレに向かいました。何と、

「岡崎さん、一緒にしますよ」

と仰せられ、ついて来られるのです。勘の鈍い私は、女史もだと思っていました。ところがトイレの扉の前で、

「ゆっくり用を足していらいっしょい。ここで待っていますから心配しないでね」

と扉を背にして、誰にもノックさせさせないようにして下さいます。私はつくづく頭が下がります。お言葉に甘えました。年を取りまして身繕い一つにも時間が掛かります。終わって出ました時、少しも変わらぬ姿勢で立っておられる姿に二度びっくりして、もうお礼の言葉に窮するほどのショックでした。言葉の通じない地での、年寄りへの行き届いたお心遣いでした。国境を越えても尽きることはない友愛を大切に大切に心に収めております。

主人亡き後まで、このような温かいお心を寄せて下さいます方が沢山おられます。これは主人の遺産。皆様へ、そして主人へ、ありがとうございます。岡崎時子(岡崎嘉平太氏夫人) 著

『心のえつまのいなぎ』(平成五年発行非売品)より



第七回講演会の開催

平成20年9月6日(土)、『岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第七回講演会』を250人の参加者をえて開催しました。講師の中国日本友好協会副会長王效賢先生は日中国交正常化実現までの道をお話してくださいました。



また、AMD Aグループ代表菅波茂先生は、岡山発信の国際貢献の目的や現状をお話くださいました。両先生から世界規模でお話をいただき、参加者からは新たな学びや感動を得たと好評でした。

両先生の講演の記録はもう間もなく冊子にまとめ頒布します。



周恩来総理生誕110周年 記念企画展
岡崎嘉平太没後20周年

「岡崎嘉平太と周恩来」の開催

平成20年9月22日(月)～11月24日(月)まで岡崎嘉平太記念館にて開催しました。



また、同年12月2日(火)～同月7日(日)まで、会場を山陽新聞本社・さん太ギャラリーに移して開催しました。会期中両会場合わせて1900人近くの方々が来られました。



三笠宮崇仁親王殿下のおなり

会期中の10月12日(日)には、三笠宮崇仁親王殿下のおなりを賜り、展示を大変熱心にご高覧いただきました。

周恩来総理の遺品特別公開

岡崎家に多大なご協力をいただき、この度の企画展に合わせて、中国江蘇省淮安市の周恩来故居(生家)・記念館から副局長、副館長をお招きしました。お二人がご持参下さった周総理の服や鄧穎超夫人の服を11月1日(土)～3日(月)まで特別公開し、展示解説をしていただきました。

周総理の遺品は大変貴重で、国外へ持ち出されることはまずないそうです。周総理の着用された人民服（中山《ちゅうざん》服ともいわれ公式な場で着用）は、現在中国にも数着しか残っていないそうで、今回の特別公開は得難い機会となりました。



周総理の着ていたワイシャツ（右）と鄧穎超夫人の着ていたブラウス（周恩来故居所蔵）

ワイシャツは襟の部分が付け替えられたり、袖口はすり切れていたりと、周総理の堅実な生活をうかがい知ることができるものでした。



周総理の着ていた人民服（周恩来記念館所蔵）
下写真で周総理が着用していた服。周総理の身長は 170 cm 位だったそうです。



周恩来故居副局長 孫洪斌 氏と周恩来記念館の副館長 王旭燾 氏(手前)



周総理(右)と岡崎氏（1963年頃）



周総理の遺品を解説をする王氏(中央)



特別公開オープニングテープカット(11月1日)
(左から 白井岡山県生活環境部次長、岡崎嘉平太氏長男岡崎彬氏、孫氏、王氏、重森吉備中央町町長、河田啓子岡崎嘉平太記念館館長)

岡崎嘉平太氏墓所案内標識の設置

かねてから場所がわかりにくいと、ご要望の多かった岡崎嘉平太氏の墓所への案内標識を設置しました。

野山の会、ご親族並びに吉備中央町のご協力で実現いたしました。



しゅうおんらいどうり じんせい し てほん かへいた
周恩来総理を人生の師として手本にした嘉平太さん



ひだり しゃしん しゅうそうり じっさい み
左の写真は、周総理が実際に身につけられ、いたんだ
えり つ か たいせつ き そでぐち
襟を付け替えてまで大切に着られたワイシャツの袖口
しゅうそうり たいせつ け
です。周総理がものを大切にし、かざり気がなくまじめ
ひとがら
な人柄だったことがうかがえます。



企画展と特別展示の会場の様子

ちゅうごく わいあんし しゅうおんらいぎねんかん も き
中国・淮安市の周恩来記念館からわざわざ持って来て
おかざきかへいたきねんかん とくべつこうかい
いただき、岡崎嘉平太記念館で特別公開しました。

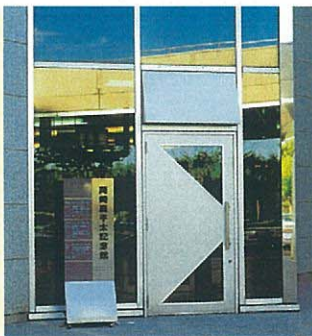
かへいた しゅうそうり つね ひと かんが
嘉平太さんは『(周総理は)常に人のことを考えている。
じぶん かんが ひと わたし いちばん
自分のことはあまり考えない人です。だから、私の一番
そんけい ひと おかざきかへいたでん か
尊敬している人なんです。』(「岡崎嘉平太伝」より)と書い
しゅうそうり ね ま お ひとひと
ておられます。周総理は寝る間も惜しんで人々のために
っ
尽くされたそうです。

かへいた しゅうそうり そんけい りゆう ひと
また、嘉平太さんは、周総理を尊敬する理由の一つを
こっこうかいふく ぜんねんはる おぼえがきぼうえきこうしょう お ひ よる
次のように書かれています。『国交回復の前年春、覚書貿易交渉の終わった日の夜の
しゅうそうり かいけん わす しゅうそうり しゅっせきしゃ ひとり ひとり よ
周総理との会見も忘れられない。周総理はいつものように出席者の一人一人に呼びかけて
あいさつ とくしゅうそうり となり わたし そうり
挨拶をされていたが、…中略…この時周総理の隣にいた私は、ふと総理のワイシャツの
そでぐち き き せんたく
袖口がすり切れているのに気がついた。もちろん洗濯してアイロンもかかっていたが、
わたし み はん た しゅうそうり せいかつたいど ぶか かんめい う
私は身をもって範を垂れられた周総理の生活態度に深い感銘を受けたのである。』

おかざき かへいたちよ わたし きろく
(岡崎嘉平太著「私の記録」より)

かへいた むすこ ちち たいへん おとこ ひ さかい
そして嘉平太さんの息子さんは、「父は大変おしゃれな男だったが、この日を境に
ふく しんちよう い
ぴたっと服を新調するのをやめました。」と言っておられます。

わたし しゅうそうり じんぶつ ねが にほん ちゅうごく
私たちは、周総理がどんな人物で、どんなことを願っておられたのか、日本と中国の
かんけい れきし まな おお あらた おも
関係や歴史から学ぶことは多いと改めて思いました。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

ホームページ <http://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp



2009.1